

防災のキホン

エマージェンシーカードについて

このエマージェンシーカードは、プラス株式会社ジョイントテックスカンパニーと災害リスク評価研究所が企業向けにご利用していただくために作成したものです。

●目的

デジタル化社会の今、災害時は停電や通信の途絶が想定されます。また、携帯電話の紛失などを想定して、いざという時にお使いいただける情報をカードサイズにしました。財布や名刺入れ、身分証と共に保管してお役立てください。

●特長

- ・所持しやすいサイズなので、財布や名刺入れなどに入れて、常に携帯できます。
- ・裏面はフリースペースのため、通勤通学等の帰宅経路の地図やメモ書きとしても利用できます。
- ・ご自身に何かあった場合の連絡先カードとしても活用できます。

●使いかた

1. A4 サイズで印刷し、空欄を埋める。項目によっては、会社や家族で事前に話し合っておく必要があります。これを機会に家族でも連絡先などを決めておきましょう。
2. 下半分を切り取り、線に沿って折る。
3. 財布や名刺入れ、ID カードホルダーなどに入れ、常に携帯する。

※ご利用上の注意点 ※

- ・このカードは、個人間や会社内でコピー配布してお使いいただけます。販促や商用など営利目的に改変して利用する場合は、あらかじめ災害リスク評価研究所への許可が必要となります。
- ・大切な個人情報を含むカードのため、財布などに慎重な保管をお願い致します。
- ・キャッシュカードの暗証番号などは記載しないようにご注意ください。

カスタマイズも可能です！

用途に合わせて、カードの内容をカスタマイズしてお使いいただけるカードや家庭向けのカードもご用意しています。(Word 2010 形式)

詳しくは、災害リスク評価研究所の HP をご覧ください。→ <http://www.saigai-risk.com/>

※改善点や追加項目などのご要望がございましたら災害リスク評価研究所 HP へお願い致します。

切り取ってお使いください。

エマージェンシー (緊急時) カード															
■ 本人情報 氏名： 生年月日： 年 月 日 血液型： 型 Rh 持病： 住所： 電話：	■ 勤務先情報 会社名： 部署名： 住所： 電話： □ 会社への連絡方法 (伝言板やSNS使用) ■ 会社への連絡方法 (電話連絡) 1. 部下から上司へ連絡する ▶ 上司の連絡先： 2. 上司は係・課をまとめて上に連絡 エリア (営業所・支店等) 単位で緊急対策本部に連絡 ▶ 緊急対策本部連絡先： □ 会社の遠隔地の中継連絡先 支店 / 店舗名： 電話：														
■ 家族情報 氏名： 続柄： 血液型： 型 Rh 携帯番号： 携帯 Mail： SNS 連絡： 氏名： 続柄： 血液型： 型 Rh 携帯番号： 携帯 Mail： SNS 連絡：	■ 家族避難場所・連絡先 避難場所名①： 電話： 避難場所名②： 電話： ■ 家族の遠隔地の中継連絡先 実家住所： 実家電話：														
	■ 安否確認の連絡方法について 日ごろから会社や家族で話し合い、災害時の安否確認の方法や避難しなければならない時の避難先や連絡先、連絡方法を決めておく。 ● NTT 災害伝言ダイヤル「171」 ※被災地の固定電話が対象 <table border="1"><thead><tr><th>伝言の録音方法</th><th>伝言の再生方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>① 7 ① にダイヤル</td><td>① 7 ① にダイヤル</td></tr><tr><td>↓ ①</td><td>↓ ②</td></tr><tr><td>会社や自宅の電話番号</td><td>確認したい電話番号</td></tr><tr><td>↓ ① #</td><td>↓ ① #</td></tr><tr><td>録音 (30 秒)</td><td>再生</td></tr><tr><td>↓ ⑨ #</td><td>↓ ⑨ #</td></tr></tbody></table> ● 他にも SNS や携帯電話会社の伝言板も連絡方法として有効です。	伝言の録音方法	伝言の再生方法	① 7 ① にダイヤル	① 7 ① にダイヤル	↓ ①	↓ ②	会社や自宅の電話番号	確認したい電話番号	↓ ① #	↓ ① #	録音 (30 秒)	再生	↓ ⑨ #	↓ ⑨ #
伝言の録音方法	伝言の再生方法														
① 7 ① にダイヤル	① 7 ① にダイヤル														
↓ ①	↓ ②														
会社や自宅の電話番号	確認したい電話番号														
↓ ① #	↓ ① #														
録音 (30 秒)	再生														
↓ ⑨ #	↓ ⑨ #														
	■ 会社所在地の公的機関・避難所 [会社所在地の公的機関] 役所： 電話： 消防署： 電話： [地震時指定避難所] _____ 電話： [水害時指定避難所] _____ 電話： <small>※津波の場合は、高台または10m以上の鉄筋三階以上の建物に全速力で逃げる。</small>														
	■ 災害時の初動行動 (一般社員) 1. 自分自身の身の安全確保 (避難の必要の可否) ・まずは、机の下に隠れ、揺れがおさまるまで動かない。 ・ドアを開けて出口を確保。 ・むやみに外に飛び出さないこと。 ・屋外にいる時は、まずカバン等で頭を保護。 ・屋内へ避難。 2. 人命救助と要救助者の確認 3. 安否確認 (電話・メール・SNS・伝言ダイヤルなど) ※ 施設内の安全チェック (2 次災害や余震対策) ※ 被害状況やライフラインの把握 ※ 帰宅困難の把握 (交通機関のマヒなど) ※ 帰宅困難時の自動対応 (参集・直帰・避難所)														